

平成26年6月八戸市議会定例会一般質問事項(教育委員会分)

(6月9日、10日 2日間)

○6月9日(月)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁
自由民主・市民クラブ 藤川 優里	4 通学路について		教育指導課	1
公明党 夏坂 修	4 教育行政について	(1) 学校施設の非構造部材の耐震対策について	教育総務課	2
		(2) 学校給食での食材残渣の処理について	学校教育課	3
		(3) 八戸市勤労青少年ホームについて	教育指導課	4

○6月10日(火)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁
会派四季 坂本 真将	2 教育行政について	図書館運営について		
		蔵書の数と今後の方向性について	図書館	5
無所属 伊藤 圓子	4 八戸市立図書館について	(1) 蔵書数の現状と認識について	図書館	6
		(2) 蔵書数の整備拡充について	図書館	7
		(3) 利用者増強策について	図書館	8

質問者(議員名)	藤川 優里 議員
発言事項	4 通学路について
発言の要旨	
質問内容	通学路における安全・安心な見守り体制の現状と課題について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 各小・中学校では、登下校時に、保護者、交通安全協会、交通指導隊、防犯協会、警察等の協力を得ながら、見守り活動に取り組んでいる。</p> <p>○ 昨年度から、市内全小・中学校で推進している地域密着型教育における「地域学校連携協議会」の中で、通学路について協議する機会が増えてきた。</p> <p>○ 一例として、集団下校訓練時に、地域関係機関・町内会役員・保護者の方々が多数参加し、温かい見守りと声かけを行うなど、安全・安心見守りのボランティア活動が年々充実してきている。</p> <p>○ 課題は、見守り体制は整いつつあるものの、少子高齢化のため、見守りを引き受けてくださっている方々の個人の負担が増えてきているということである。</p> <p>○ また、幹線道路の拡張等により、通学路の見直しが必要となっている学区もみうけられるということである。</p> <p>○ 市教育委員会としては、今後も子どもたちが安全に、安心して登下校できるよう、各小・中学校が、保護者、地域住民、関係機関等と一層連携し、地域ぐるみで通学路の見守りに努めるよう、指導・助言していく。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	夏坂 修 議員
発言事項	4 教育行政について
発言の要旨	(1) 学校施設の非構造部材の耐震対策について
質問内容	屋内運動場の非構造部材の耐震対策について、これまでの点検結果と今後の計画を伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文部科学省より平成 24 年 9 月に、屋内運動場の非構造部材について、27 年度までに耐震対策の完了を目指すよう通知があった。 ・ 当市では 25 年度より全小中学校 70 校を対象としており、耐震工事を分散させるため、3 つのグループに分けて、点検及び改修設計、工事を進めている。 ・ 25 年度に実施した 25 校の点検の結果、バスケットゴールの補強が 16 校、照明器具の補強が 16 校、放送設備の補強が 10 校、外壁の改修が 9 校、窓ガラスの補修が 2 校などとなっており、この結果を踏まえ、今年度中に改修工事を行うこととしている。 ・ 学校施設は、未来を担う子供たちが集い、いきいきと学び、生活する場であり、また、災害時には地域住民の方々を受け入れる重要な役割を果たす場所と認識している。 ・ 今後も計画的に屋内運動場の非構造部材の耐震対策を進め、27 年度までに完了を目指す。
担当課	教育総務課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	夏坂 修 議員
発言事項	4 教育行政について
発言の要旨	(2) 学校給食での食材残渣の処理について
質問内容	学校給食の食材残渣(生ごみ)の堆肥化について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○当市では、小学校47校、中学校25校の約22,000食/日が学校給食として提供されているが、給食残渣及び、食べ残しは、約1,300kg/日発生しており、年間260tをすべて焼却処分している。</p> <p>○本市では、「第2次環境基本計画」の中で、資源の再生利用を促進しているところであり、これまで学校給食の残渣等の堆肥化について検討してきたところである。</p> <p>○しかしながら、給食残渣の堆肥化は、リサイクル業者に処理委託した場合の年間経費が、現行の焼却処分より約600万円かかることから、コスト面で難しい状況がある。</p> <p>○このような課題はあるものの、人と自然が共生する持続可能な社会の実現を目指すことは最優先すべきことであり、今後も給食残渣の堆肥化について、引き続き検討していく。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	給食残渣をもとに作られた堆肥を、学校現場において環境教育に活用してはどうか。教育長の所見を伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○現在、多くの小中学校では、環境教育とも関連を図りながら、総合的な学習の時間等において、学校菜園を活用した野菜作りなどの活動を行っている。</p> <p>○その中で、給食残渣のリサイクルシステムを経た堆肥を利活用することは、児童生徒の自然環境を大切に作る心やよりよい環境をつくろうとする態度をはぐむ上でも効果的であると考えている。</p>

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	○教育長の発言を重く受け止め、給食残渣の堆肥化について、経費がかかるということであったが、是非とも実現してほしい。

質問者(議員名)	夏坂 修 議員
発言事項	4 教育行政について
発言の要旨	(3) 八戸市勤労青少年ホームについて
質問内容	八戸市勤労青少年ホームに係る利用状況の推移、安全対策及び今後の存廃に係る方向性について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 勤労青少年ホームの利用状況は、料理教室や着付け教室等の講座や、バスケットボールや陶芸等のクラブ活動等に利用され、平成 22 年度は利用回数 880 回、利用者数 8,171 名、平成 23 年度は利用回数 864 回、利用者数 7,751 名、平成 24 年度は利用回数 787 回、利用者数 7,308 名となり、利用回数、人数ともにやや減少傾向にある。</p> <p>○ 施設の安全対策については、事務室や集会室がある本棟は築 49 年、体育館は築 31 年が経過している。</p> <p>耐震診断は行っていないが、公共建築物の敷地及び構造物等についての劣化状況の定期的な点検である、「建築設備定期点検」を 1 年毎に、「建築物定期点検」を 3 年毎に実施している。</p> <p>○ 今後の存廃については、償却資産としての耐用年数は 50 年だが、青森県の物理的耐用年数では、鉄筋コンクリート造の建物は概ね 60 年との指針のため、あと 10 年間は継続利用が可能であると考えている。</p> <p>○ 耐震診断の実施に向けて関係機関で協議し、その結果をもとに、施設の存廃等を含めた方向性を検討していきたい。</p>
担当課	教育指導課 雇用支援対策課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	勤労青少年ホームの耐震診断をしてほしい。

質問者(議員名)	坂本 眞将 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	図書館運営について 蔵書の数と今後の方向性について
質問内容	図書館本館の蔵書数の目標値を伺いたい。今後、どのような方向性で蔵書を増やして行くのか。また、そのタイムスケジュールについても伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	※当日、議員より割愛となった。
担当課	図書館

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	伊藤 圓子 議員
発言事項	4 八戸市立図書館について
発言の要旨	(1) 蔵書数の現状と認識について
質問内容	図書館の蔵書数の現状と認識について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 平成 25 年度末時点での蔵書数は、本館が 448,774 冊、分館の南郷図書館が 50,547 冊、図書情報センターが 7,035 冊で、3 館を合わせた冊数は 506,356 冊である。</p> <p>○ 「2013 日本の図書館」によると、公立図書館の保有図書数の全国平均は 128,815 冊、人口 20 万人以上 30 万人以下の都市における図書館の蔵書冊数の平均は 697,800 冊となっている。</p> <p>○ 資料収集における各館の特徴は、中心館である本館は、基本図書及び郷土資料を積極的に収集し、地域文化の継承に努めている。</p> <p>○ また、分館の南郷図書館は、地域の特性を活かし、南郷地区に関わりのある資料に力を入れており、図書情報センターは、八戸駅に立地し乗降客が多いことから、視聴覚資料・新聞・雑誌・郷土資料の収集に重点を置いている。</p> <p>○ 本市としては、市民の要望や利用状況を考慮しながら、各分野にわたり幅広く収集し、利用者にとって魅力ある蔵書構成にするための努力をしていく。</p>
担当課	図書館

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	伊藤 圓子 議員
発言事項	4 八戸市立図書館について
発言の要旨	(2) 蔵書数の整備拡充について
質問内容	図書館の蔵書数の整備拡充について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 蔵書数の整備拡充をはかる上で、一番の基本は図書購入費の充実であり、本館と2分館を合わせた平成26年度の図書購入費は27,211,000円、前年と比較すると758,000円の増である。</p> <p>○ 蔵書数の推移について、10年前、5年前、現在を比較すると、本館は397,420冊、408,378冊、448,774冊と増加、南郷図書館は平成17年2月の開館となるが、開館時27,096冊、38,497冊、50,547冊、図書情報センターは2,353冊、5,008冊、7,035冊といずれも増加している。</p> <p>○ 蔵書を増やし、利用者にとって魅力ある図書館にしたいと考えているが、現実問題としては、保管場所を確保しなければならず、そのためには、定期的な除籍が必要と考えている。</p> <p>○ また、3館にない図書は、利用者の便をはかるため、全国の図書館から借りられる相互貸借の制度を利用しており、平成25年度の借受冊数は463冊で、青森県立図書館をはじめ全国75館から借り受けした。</p> <p>○ 今後とも、蔵書の数だけではなく、魅力ある蔵書構成にするための努力をしていく。</p>
担当課	図書館

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	図書館の蔵書数についてどう思うか。
答弁者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 図書館の蔵書は数だけではなく、古典的なものが揃っていること、新刊については重要なものがすべて揃っていることが大事であると考えている。</p> <p>○ 同人口規模の都市の図書館の平均蔵書数と比較すると、八戸市は少ないということは受け止める。その上で図書館の充実と合わせ、「本のまち八戸」の充実に努めていきたい。</p>

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	○ 保管場所の問題もあるようだが、伝統ある図書館にふさわしい蔵書数、施設にするための予算化を図ってほしい。

質問者(議員名)	伊藤 圓子 議員
発言事項	4 八戸市立図書館について
発言の要旨	(3) 利用者増強策について
質問内容	図書館の利用者を増やすための取組みについて伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 図書館では、利用促進のために、市民大学講座講師の関連本の展示など季節・時事に合わせた企画展示、絵本の読み聞かせ、学校出前講座、乳幼児健診での図書館利用案内の配布などを行っている。また、3月には「はっち」に図書返却ポストの設置をした。</p> <p>○ 今年度はブックスタートを実施するが、赤ちゃんと保護者に絵本の楽しさを知ってもらうとともに、図書館のPRにもなるのではないかと考えている。</p> <p>○ また、図書館から遠い地域の方のために、分室開設、移動図書館車の運行、公民館や学校に図書を届ける配本などのサービスを行っている。</p> <p>○ 分室は、鮫、湊、上長、根城、館の公民館と是川集会所に設置しており、週に1回から2回の貸出しは、地域のボランティアが行っている。</p> <p>○ 移動図書館車は、学校や公民館など51カ所にステーションを設け、各ステーションを月に一度巡回し貸出しを行っている。</p> <p>○ 配本サービスは、希望する小学校や児童館、公民館などに50冊から200冊の図書を年4回届けるもので、平成25年度は20の施設と7校に配本を行った。</p> <p>○ 以上のように、利用者を増やすための取組みを行っているが、今後も他都市の事例なども参考にしながら、より魅力ある図書館づくりに努める。</p>
担当課	図書館

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	○ マイブッククーポンがスタートし、子どもたちには図書館にも足を運んでほしい。子どもたちによる選書などで図書館の本をPRする機会をつくるなど、図書館の児童図書の情報発信をしてほしい。

八戸市国際教育交流ボランティアバンクの設置について

1. 目的

八戸市教育委員会が行う国際教育交流活動へ、国際教育交流ボランティアとして参加、協力する児童生徒、保護者及び市民を広く募り、もって市民の国際協調、友好親善の精神を育む。

2. 活動の内容

- (1) 外国人小中学生のホームステイ受入れ
- (2) 国際教育交流のイベント、行事への参加、協力
- (3) 海外青少年交流団の出迎え、見送り
- (4) その他、国際教育交流活動を行う上で必要と認められる活動

3. 登録要件

- (1) 市内に住所を有する者（市内の事業所、大学等に通勤又は通学している者及び市内の各種団体に所属している者を含む。）
- (2) 心身ともに健全で、国際教育交流に対する理解及び熱意がある者
- (3) イベント、行事の会場へ自ら集合できる者
- (4) 活動のいずれかに協力できる者

4. 予想される主な活動

蘭州市青少年友好交流団など姉妹都市・友好都市の青少年交流団団員のホームステイ受入れ、出迎え、見送り、歓迎会への参加協力、市内視察でのガイドなど

5. 周知方法

広報 8 月号掲載

市ホームページ掲載（掲載中）

市内各小中高校へ周知依頼（市内全小中学生に案内文配布済み）

市内各市民サービスセンター、公民館への設置（設置済み） など

平成26年度「南部藩ゆかりの都市との交流事業」について

1 事業の目的

南部藩ゆかりの都市との交流事業は、歴史的なつながりを有する岩手県遠野市との交流事業であり、両市児童による相互交流を通じ、南部藩の歴史や両市の関わりを学び、ふるさとに対する心を育み、もって、児童の健全育成を図ることを目的とする。

2 事業内容

(1) 派遣事業

ア 事前研修

事業の目的、趣旨および内容等について理解を深め、団員の心構え及び団体活動の基本を習得させる。

イ 訪問研修

訪問都市の児童と、歴史・文化等の紹介、交流を行う。

ウ 事後研修

交流事業体験のまとめ及び発表を行う。

(2) 受入事業

ア 受入研修

施設見学、グループ交流、体験活動を通じた学習を行う。

イ 交歓会

受入都市の児童との交流を通じ、お互いの歴史的遺産の価値や共通点を正しく理解する。

3 交流都市

岩手県遠野市・紫波町

4 日程

(1) 八戸市少年使節団派遣事業

平成26年7月28日(月)～7月30日(水)

第1日目(7月28日)

・歓迎式(遠野市長出席) ・遠野市内施設見学

第2日目(7月29日)

・遠野ふるさと村体験学習 ・伝承園等遠野市内施設見学 など

第3日目(7月30日)

・紫波町長表敬訪問 ・八戸藩志和代官所跡見学 など

(2) 遠野市少年使節団受入事業

平成26年8月2日(土)～8月3日(日)

第1日目(8月2日)

・歓迎式、種差少年自然の家での体験交流等

第2日目(8月3日)

※遠野市児童のみで八戸市児童の参加はなし

・八戸市博物館、史跡根城の広場、是川縄文館見学等

・三社大祭参加

5 参加児童及び引率者(予定)

(1) 派遣事業

ア 八戸市小学校6年生 47名

イ 引率者 7名

(2) 受入事業

ア 遠野市小学校6年生 26名

イ 引率者 6名

平成26年度南部藩ゆかりの都市との交流事業に関する日程等

No.	事業内容	期 日	時 間	場 所	備 考
1	開 講 式	6月20日(金)	9:00 ～ 10:00	・総合教育センター 3階大研修室	・市長激励の挨拶 ・特別団員委嘱状交付 ・団員紹介、教育長挨拶等
2	第1回事前研修		10:00 ～ 17:00	・総合教育センター 3階大研修室 第1・2研修室	・博物館職員による講話 ・オリエンテーション ・全日程の説明 ・諸連絡等 ・班づくりと役割分担 自己紹介集作成等
3	第2回事前研修	7月11日(金)	8:30 ～ 17:00	・総合教育センター 第1・2研修室	・資料づくり、集団行動 訓練等 ・自主見学コース決定等
4	遠野市等訪問	7月28日(月)	7:15 ～ 7:40	・八戸市庁前	・出発式、教育長挨拶
		7月29日(火)			・遠野市内見学等 ・紫波町内体験学習
		7月30日(水)	16:40 ～ 17:00	・八戸市庁前	・解散式
5	遠野児童受け入れ	8月2日(土)	10:30 ～ 10:50	・八戸市庁別館 2階会議室	・市長歓迎挨拶
	小学生交流会 体験学習		12:00 ～ 13:00	・種差少年自然の家	・歓迎セレモニー ・遠野市・八戸市小学生 による交流会 ・お別れセレモニー
6	博物館等見学 三社大祭見学	8月3日(日)	9:30 ～ 12:00 14:00 ～ 16:50	・是川縄文館 ・博物館 ・根城の広場 ・宮由自動車前	・是川縄文館、博物館、 根城の広場見学 ・三社大祭見学等 ※遠野市児童のみ
7	事後研修	8月4日(月)	8:30 ～ 17:00	・総合教育センター 第1・2研修室、 視聴覚室	・報告会準備 ・受入準備等
8	報告会準備	8月8日(金)	8:30 ～ 12:00	・八戸市庁別館	・報告会のまとめ ・報告会準備等
9	報 告 会		13:30 ～ 14:40 14:50 ～ 17:00	2階会議室	・各班ごとによる報告会 ・市長講評

平成26年度 南部藩ゆかりの都市との交流事業 特別団員名簿

	区 分	氏 名	性別	学 校 名	学校・団体における役職
1	団 長	かわらぎ さとし	男	吹上小学校 校長	八戸市小学校長会 副会長
		河原木 聡			
2	指導教員	わかばやし たもつ	男	吹上小学校 教諭	八戸市小学校特別活動教育研究会
		若 林 保			
3	指導教員	みうら ただし	男	高館小学校 教諭	八戸市小学校特別活動教育研究会
		三 浦 正			
4	指導教員	ささき りょうこ	女	江陽小学校 教諭	八戸市小学校特別活動教育研究会
		佐々木 亮子			
5	指導教員	おのでら むつみ	女	明治小学校 養護教諭	八戸市小学校保健教育研究会
		小野寺 睦			

平成26年度 南部藩ゆかりの都市との交流事業 事務局名簿

	区 分	氏 名	性別	団 体 名	団体における役職
1	事務局長	しょうぶけ みつひこ	男	八戸市教育委員会	教育指導課 課長
		正部家 光彦			
2	事務局員	きむら さとし	男	八戸市教育委員会	教育指導課 副参事
		木 村 智			

平成26年度 南部藩ゆかりの都市との交流事業 一般団員名簿

学 校 名	性 別	氏 名	学 校 ・ 団 体 に お け る 役 職
1 八戸小学校	女	まいた ゆうあ 米田 唯愛	放送委員長
2 城下小学校	女	たなか ゆうめ 田中 結萌	生活プログラム委員会副委員長
3 吹上小学校	女	ちだ ゆうな 千田 侑奈	運営委員会委員長
4 長者小学校	男	おおて まさや 大手 祐哉	運営委員会委員長、相撲愛好会キャプテン
5 函南小学校	男	おかほり つかさ 岡 堀 司	運営委員会副委員長
6 中居林小学校	女	くどう ちさと 工藤 智里	計画委員会委員長
7 柏崎小学校	男	おおわたり しゆうき 大渡 柁輝	企画委員会委員長
8 小中野小学校	男	いちさわ りょう 市 澤 凌	運営委員会委員長
9 江陽小学校	女	くどう さき 工藤 咲希	保健委員会委員長
10 湊小学校	男	こむかい よしのすけ 小 向 善之助	環境委員会書記
11 青潮小学校	男	みやざき ゆうと 宮崎 悠聡	計画委員会副委員長
12 白銀小学校	男	かとう りゆうと 加藤 颯人	運営委員会委員、男子バスケットボールクラブ長
13 白鷗小学校	女	なかむら あつみ 中村 淳美	放送委員会副委員長、代表委員
14 白銀南小学校	女	なら ゆうか 奈良 侑香	ボランティア委員会委員長
15 町畑小学校	男	いとつぼ かんた 糸坪 寛太	図書委員会書記
16 美保野小学校	男	いたばし あゆむ 板橋 歩夢	計画委員会委員長、卓球部部长
17 鮫小学校	女	いそや かのん 磯谷 かのん	計画委員会委員長
18 種差小学校	男	ふかがわ かいと 深川 佳豊	児童会会長、健康委員会副委員長
19 大久喜小学校	女	せきぐち はるか 関口 春香	生活運営委員会委員長、日本文化クラブ副クラブ長
20 金浜小学校	男	うえの とおる 上野 透	図書委員会委員長、企画委員会委員長
21 根城小学校	女	かさい れな 笠井 玲菜	計画委員会書記
22 白山台小学校	女	かせ あや 嘉瀬 彩	音楽クラブクラブ長、体育委員会代表委員
23 江南小学校	男	こばやし よしひろ 小林 佳弘	計画委員会委員長、東根城子ども会会長
24 田面木小学校	女	たちばな ひまり 橘 ひまり	プログラム委員
25 下長小学校	女	なかやま ひより 中山 ひより	保健委員会委員長、きょうだい学級(縦割り)リーダー
26 城北小学校	女	こばやし なのか 小林 菜乃花	生活委員会委員長
27 高館小学校	男	かつやま だいき 勝山 大樹	プログラム委員会役員
28 根岸小学校	女	よこさわ ゆみ 横澤 由海	環境委員会委員長、虎舞部部长、百人一首クラブクラブ長
29 日計ヶ丘小学校	男	さかた りくと 坂田 陸翔	計画委員会書記
30 是川小学校	男	たけだ ゆうま 竹田 勇真	計画委員会副委員長
31 是川東小学校	女	こしば なつみ 小柴 奈津美	放送・図書委員会委員長、リトルJUMPチーム
32 三条小学校	女	しもやま ひかるこ 下山 ひかる子	運営委員会委員長
33 西園小学校	男	ささき いぶき 佐々木 息吹	計画委員会書記
34 明治小学校	男	わだ こうたろう 和田 光太郎	運営委員会書記、野球部副キャプテン、堀川子ども会会長
35 桔梗野小学校	女	やまざわ ともみ 山澤 友美	環境・整備委員会委員長、器楽部部长
36 轟木小学校	男	たけい はやと 竹井 駿太	児童会副会長
37 多賀小学校	女	かわら いちは 河原 一葉	計画委員会委員長
38 多賀台小学校	男	すずき せいた 鈴木 清太	運営委員会委員
39 豊崎小学校	女	あらき ひな 荒木 妃那	企画委員会委員長
40 新井田小学校	男	えと こうへい 江渡 皓平	給食委員会委員、サッカークラブチームキャプテン
41 松館小学校	男	かわむら たける 河村 武	児童会実行委員長、生活委員長、縦割仲良しグループ副班長
42 旭ヶ丘小学校	女	かとう ゆうき 加藤 優葵	生活委員会委員長、縦割なかよし班班長、集団下校班班長
43 市野沢小学校	男	さかした しょうご 坂下 彰梧	企画委員会副委員長
44 中野小学校	女	いしや きよか 石屋 碧花	児童会副会長、図書委員会委員長
45 鳩田小学校	女	たかやま みなみ 高山 美波	代表委員会委員長、放送委員会委員長
46 島守小学校	男	おた れのん 織田 零央	運営委員
47 田代小学校	男	さんぼんぎ もとのり 三本木 心甫	児童会会長、陸上部部長

児童内訳	男	24 人
	女	23 人
	計	47 人

八戸市ブックスタート事業について

1. 目的 赤ちゃんと保護者に、絵本を開く楽しい体験と一緒に絵本を手渡し、絵本を介してゆっくり心ふれあうひとときを持つきっかけをつくる。
このことにより、家庭でも絵本をひらく機会が増えるよう、また、その後の読書習慣につながるよう、「本のまち八戸」の実現に寄与する。
2. 対象者 市内に住民登録をしている生後 90 日から満 1 歳までの乳児（平成 26 年 4 月 2 日以降生まれ）及びその保護者
※参考：平成 25 年出生者 1,797 人
3. 場 所 八戸市総合健診センター
（生後 90 日～149 日に受診する股関節脱臼検診の会場）
4. 開始日時 平成 26 年 7 月 2 日（水） 検診終了後（午後 2 時頃）から開始
以後、検診日である毎週水曜日に実施
5. 実施内容 （1）ブックスタートの趣旨の伝達
（2）絵本「いないいないばあ」の読み聞かせ
（3）ブックスタートパック（絵本 1 冊、イラストアドバイス集、コットンパック、絵本リスト、図書館の利用案内等）のプレゼント
※上記内容について、読み聞かせボランティアが、1 組から数組の親子を対象に 10 分程度実施する。
※ブックスタートパックを受領できなかった場合は、健康増進課が窓口で配布する。
※配布絵本「いないいないばあ」（松谷みよ子作 童心社）をすでに持っている場合は、「じゃあじゃあびりびり」（まついのりこ作 偕成社）又は「くだもの」（平山和子作 福音館書店）の 2 冊から選んでもらう。
6. 実施体制 図書館が主体となり健康増進課と連携し、関係機関及び読み聞かせボランティア団体と協働して実施する。
7. 周 知 健康増進課及び市民センター窓口（出生届出時）、広報はちのへで周知している。今後、ホームページ等でも周知する。

【ブックスタートとは】

1992 年イギリス発祥。赤ちゃんと保護者が絵本を介して楽しいひとときを分かち合うきっかけを、すべての赤ちゃんのもとへ届けようと始まった活動である。
日本では 2001 年に 12 市町村において活動が開始され、平成 26 年 5 月末現在、全国 1,741 市区町村のうち、882 市区町村、50.7%の自治体で実施している。市町村自治体が行う受診率の高い赤ちゃん健診などの場が利用されている。

平成 26 年度八戸市史講座の開催について

『新編八戸市史 通史編Ⅲ 近現代』の発刊を記念し、市史編纂事業の成果を広く市民に周知するために、市史講座を開催します。昨年度の近世編に引き続き、今年度は『通史編Ⅲ 近現代』の執筆者を講師に迎え、明治時代以降の様々なテーマについて解説していきます。

回	日時	演題	講師
1	7月27日（日） 午前10時～正午	戦後八戸 文化のスタート	山根 勢五 (八戸ペンクラブ顧問)
2	8月24日（日） 午前10時～正午	日本鉄道と八戸	差波 亜紀子 (法政大学非常勤講師)
3	9月21日（日） 午前10時～正午	八戸近現代に登場する 人と思想	渡部 高明 (ノースアジア大学准教授)
4	10月19日（日） 午前10時～正午	戦後八戸経済史概説	田中 哲 (八戸学院大学教授)
5	11月15日（土） 午前10時～正午	八戸のモダンガールズ	島守 光雄 (元八戸大学教授)
6	12月13日（土） 午前10時～正午	昭和の戦争と八戸	本田 敏雄 (八戸工業高等専門学校名誉教授)
7	1月10日（土） 午前10時～正午	八戸の港づくり ー明治・大正・昭和ー	小瀧 勇 (八戸ペンクラブ会員)
8	2月21日（土） 午前10時～正午	八戸市の都市計画事業の あゆみ	宮本 利行 (青森県立百石高等学校教諭)

※場所は図書館 2 階集会室。定員 50 人程度（事前申し込み不要）。